

国の機関等による国際会議等の北海道開催実績（令和5年度）

資料3-1

	会議名	主催者	開催時期	開催場所	会議の概要	会場での参加人数
1	G7気候・エネルギー・環境大臣会合	環境省・経済産業省	令和5年4月15日～16日	札幌市	札幌で開催された、気候・エネルギー・環境に関するG7閣僚会合。	300名以上
2	アジアにおける温室効果ガスインベントリ整備に関するワークショップ第20回会合	環境省・国立研究開発法人国立環境研究所	令和5年6月26日～29日	苫小牧市	参加国16か国に対する温室効果ガスインベントリを含む透明性枠組に関する能力向上を目的とした会合。	73名
3	第21回日ASEAN次官級交通政策会合	国土交通省（総合政策局国際政策課）	令和5年7月19日	札幌市	日ASEAN交通連携に関する次官級会合。	54名
4	アジア汚水管理パートナーシップ第3回総会	国土交通省水管理・国土保全局下水道部（環境再生・資源循環局廃棄物適正処理推進課浄化槽推進室）	令和5年8月1日	札幌市	現行活動計画のもと参加国がこれまで実施してきた活動を振り返るとともに、汚水管理に関する共通課題の共有や解決に向けて、SDGsの目標達成に貢献するための次期活動計画をとりまとめた。	41名
5	第35回国際電波科学連合総会	一般社団法人電子情報通信学会、国際電波科学連合、日本学術会議	令和5年8月19日～8月27日	札幌市	「持続可能な社会を目指す電波科学が拓く未来：札幌から世界への最先端の研究成果の発信」をメインテーマに、「電磁波計測」、「電磁波」、「無線通信システム信号処理」、「エレクトロニクス・フォトリクス」、「電磁波の雑音・障害」、「非電離媒質伝搬・リモートセンシング」、「電離圏電波伝搬」、「プラズマ波動」、「電波天文学」、「医用生体電磁気学」などを主要題目とした研究発表と討論が行われた。	1,493名（15名）
6	日中冬期道路交通ワークショップ研究状況報告会	（一社）北海道開発技術センター、（国研）、土木研究所寒地土木研究所、東アジア交通学会	令和5年8月29日～令和5年9月1日	札幌市	中国及び日本北部地域の冬期道路交通関連技術に関する議論及び意見交換。	50名

出典：国土交通省北海道局調べ

注1：国の機関等とは、各省庁、地方支分部局、各省庁が所管する独立行政法人、特殊法人などのことを指す。

注2：本資料の「国際会議等」は参加者総数10名以上、参加国数は日本を含む2カ国以上を対象としている。

注3：（ ）はオンラインでの参加人数。